

教科	家庭		科目	家庭総合	単位数	2
学年	3年		類型	流通経済科・情報ビジネス科・国際経済科		
教科書(出版社)	家庭総合 ～自立・共生・創造～ (東京書籍)					
副教材(出版社)	平成29年度 家庭科ノート、平成30年度 調理実習ノート基礎編 (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)					
授業の概要	(1) 生活の科学と環境(食生活) (2) 生活の科学と環境(住生活) (3) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の3項目で構成する。これらの内容については、実践的・体験的な学習活動を中心とし、相互に有機的な関連を図りながら展開する。					
授業の目標	1 食・住生活に関する知識と技術を総合的に習得する。 2 学習した知識や技術を生かし、家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。 3 家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。					
年間学習計画	学習内容(単元・項目)			学習目標		
	1 学期	5 経済生活を営む (1) 職業生活を設計する (2) 計画的に使う (3) 国民・国際経済と家庭の経済生活 (4) 消費行動と意思決定 (5) 現代の消費社会 (6) 消費者の権利と責任 (7) これからの消費生活と環境 2 住生活をつくる (1) 住生活について考える (2) 住生活の計画と選択 (3) 住生活の文化 (4) これからの住生活		・家計管理の重要性を認識し、ライフステージごとのポイントを知る。 ・国際化・複雑化している経済社会と家計との関係を理解する。 ・契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。 ・消費者の権利と責任を理解する。 ・持続可能な生活について考える。 ・住居の機能を考え、平面図の基礎知識を得て、間取りが理解し、ライフステージにあった住居を考える。 ・住居を選ぶ際、室内外の環境に着目し、安全性・快適性を考慮する必要性を学び、バリアフリーの考え方を理解し、身に付ける。 ・気候風土に応じた様々な住要、地域社会との繋がりを理解し、持続可能な住生活とは何かを考える。		
		1 食生活をつくる (3) 食生活の安全と衛生 (5) 調理の基本 ◎ 調理実習 ○ホームプロジェクトについて		・食品の選択保存や調理の際の安全に関する必要事項を学ぶ。 ・日常の食生活を振り返り、食生活の変化や問題点を知る。 ・食生活の自立に必要な基本的な調理技術を科学的な視点から学び、日常食を作れるようになる。 ・ホームプロジェクトの計画		
		2 学期 (1) 食生活について考える (2) 食事と栄養・食品 (4) 生涯の健康を見通した食事計画 (6) 食生活と文化 (7) これからの食生活 ◎ 調理実習		・日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解する。 ・青年期の食事の重要性を理解し、各ライフステージの栄養的特徴を知る。 ・日本や地域の食文化を見直し、食文化を主体的に継承できるようになる。		
3 学期	1 食生活をつくる (7) これからの食生活		・環境や食糧自給率の問題を考える。 ・生涯を通じて健康で安全な食生活が営めるようになる。			
観点別評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
	食・住生活などに関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むと共に、実践的な態度を身に付けようとしている。	食・住生活などについて見直し、生活課題を主体的に解決するために思考し、適切に判断し、工夫創造する能力を身に付けている。	食・住生活などに関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。	食・住生活などについて、生活を充実向上するために必要な知識を総合的に身に付けている。		
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評定を平均し、総合的に評価する。					

教科	家庭	科目	生活産業基礎	単位数	2
学年	3年	類型	商業科		
教科書(出版社)					
副教材(出版社)	生活産業基礎(実教出版)				
授業の概要	(1)生活の変化と生活産業、(2)生活の変化に対応した商品・サービスの提供、(3)生活産業と職業、(4)職業生活と自己実現の4項目で構成しており、体験的な学習を通して専門的な学習への意欲を高めるとともに、勤労観、職業観の育成を図る。				
授業の目標	衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業への関心を高め、必要な知識と技術を進んで習得し活用する意欲と態度を育てる。				
年間学習計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1学期	第1章 「生活産業基礎」を学ぶ 1節 私たちの生活と「生活産業」 2節 「生活産業」のスペシャリストになるために 第2章 生活に対応した商品・サービスの提供 1節 消費者ニーズの把握 2節 商品・サービスの企画・開発及び販売・提供 3節 関連法規 第4章 衣生活関連分野の産業と職業 1節 衣生活の変化と生活産業のかかわり 2節 衣生活関連産業の職業と資格	・近年の社会の変化と産業構造の変化に伴って、働き方やライフスタイルが多様化していること、人々のニーズの変化を的確に捉えた商品・サービスが提供されていることを理解する。 ・消費者ニーズを把握するための調査方法や、結果の活用方法を知る。 ・商品やサービスの企画、開発から販売・提供の仕組みを知り、具体的に商品開発について考える。 ・商品やサービスに関する法規を理解する。 ・人々の意識の多様化により、ファッションが多様化していることを理解する。 ・様々な資格や職業について具体例を通して興味・関心を持つ。		
	2学期	第3章 食生活関連分野の産業と職業 1節 食生活の変化と生活産業のかかわり 2節 食生活関連産業の職業と資格 第6章 ヒューマンサービス関連分野の産業と職業 1章 社会の変化とヒューマンサービス 2章 ヒューマンサービス関連産業の職業と資格 第5章 住生活関連分野の産業と職業 1節 住生活の変化と生活産業とのかかわり 2節 住生活産業の職業と資格	・外食・中食産業、食品流通業の意義と役割を理解する。 ・消費者のニーズや消費行動に対応した商品・メニュー開発、販売やサービスの方法に関心を持つ。 ・様々な資格や職業について具体例を通して興味・関心を持つ。 ・ライフスタイルや価値観の多様化によってヒューマンサービス関連分野に対する需要が高まっている状況を認識し、意義と役割を理解する。 ・様々な資格や職業について具体例を通して興味・関心を持つ。 ・住生活に関わる産業の意義と役割を理解し、人々がライフスタイルや価値観に合った住居を求めていることを具体的な事例を通して理解する。 ・様々な資格や職業について具体例を通して興味・関心を持つ。		
	3学期	第7章 職業生活と自己実現 1節 職業生活と生きがい 2節 将来の生活と学業	・生活産業にかかわる職業人に求められる資質・能力について理解する。 ・生活産業のスペシャリストとして働くことが自己実現につながっていくことを理解する。		
観点別評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	○生活産業に関連する職業の種類や特徴について関心を持ち、主体的に学習活動に取り組んでいる。	○生活産業に関連する調査・実習等を通して、生活産業の意義や役割について思考を深めている。	○生活産業に関連する調査等から情報を整理し、実習内容について理解し、表現することができる。	○生活産業の種類や特徴を理解し、関連する職業に関わる知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評定を平均し、総合的に評価する。				